



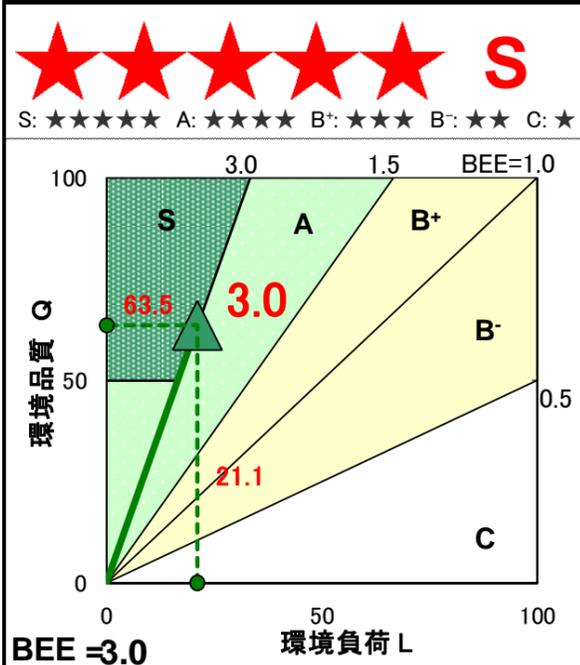
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)MM21-46街区プロジェクト	
建設地	横浜市西区みなとみらい四丁目4番5号	
用途地域	商業地域、防火地域	
気候区分	地域区分IV	
建物用途	事務所、工場	
竣工年	2014年3月	竣工
敷地面積	11,485 m ²	
建築面積	7,487 m ²	
延床面積	97,248 m ²	
階数	地上14F	
構造	S造	
平均居住人員	8000 人	
年間使用時間	3000 時間/年	

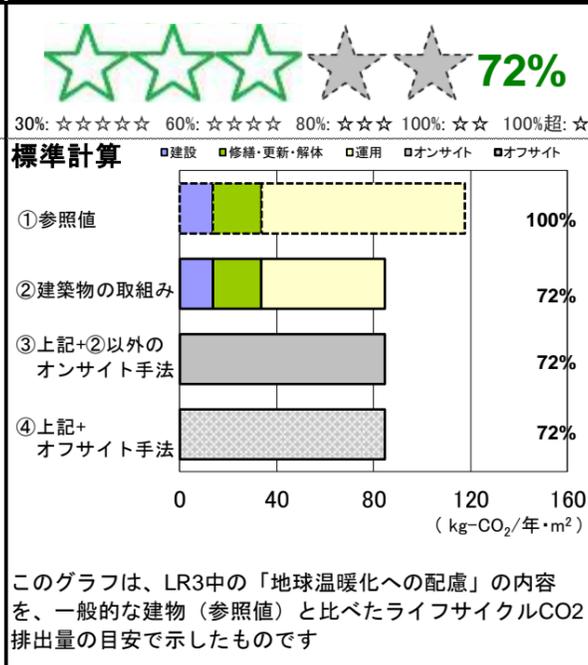
1-2 外観



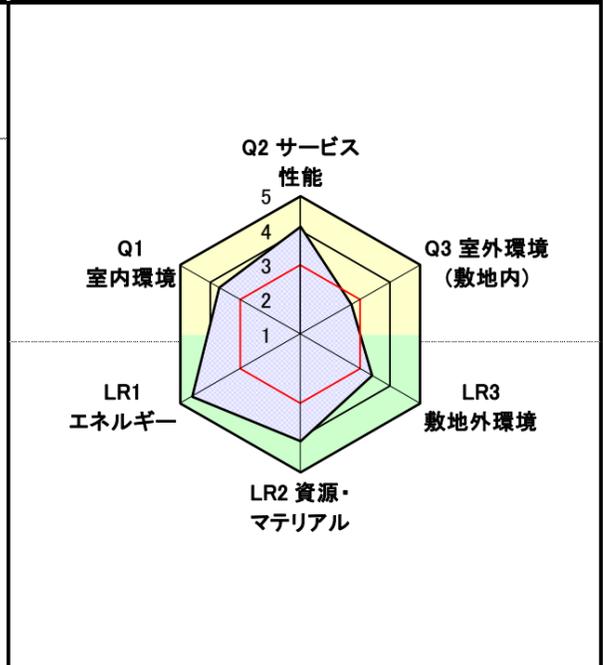
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



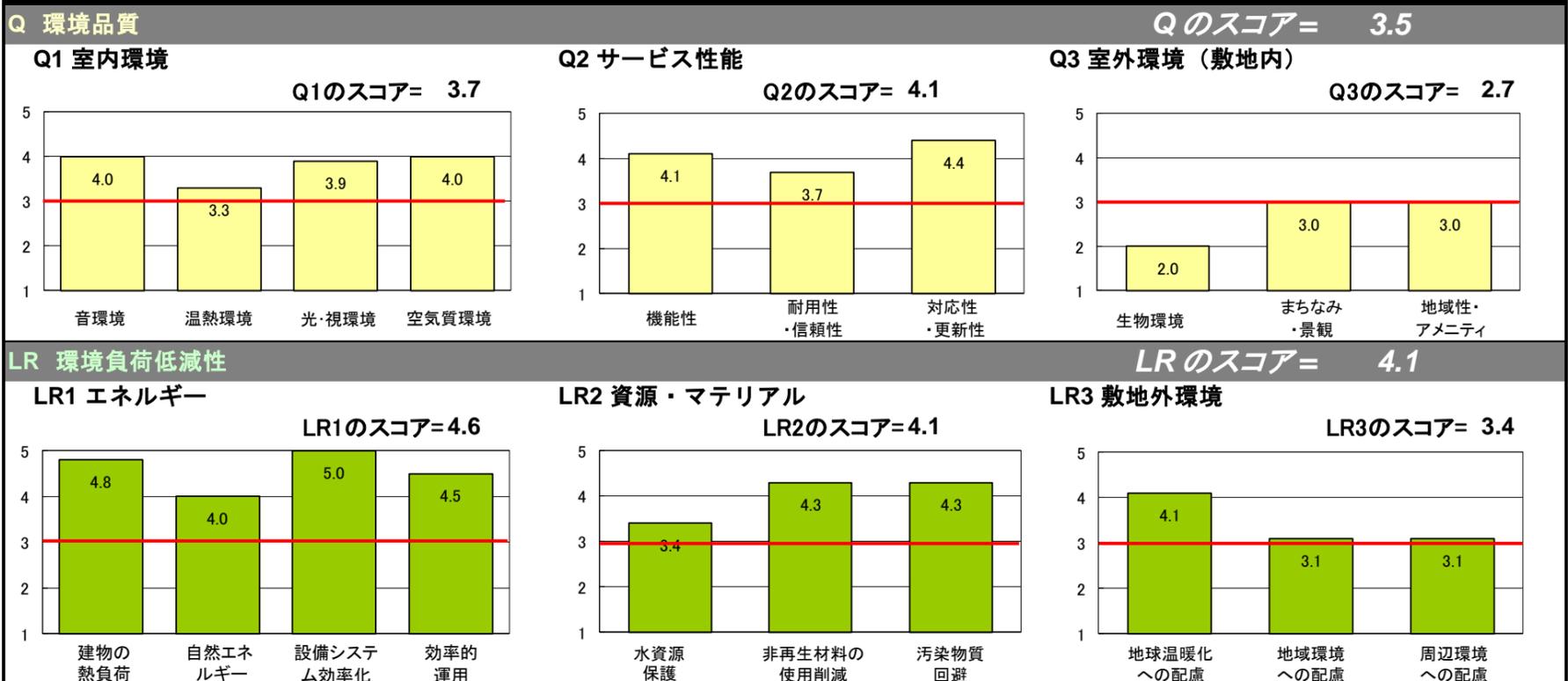
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 注)「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のことです。
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出されます。



3 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

地球温暖化対策(G) global warming	重点項目への取組(5点満点)	5
<p>■エネルギー対策 (①建物の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)</p> <p>①外周に庇を設けることで熱負荷を抑制。ガラスカーテンウォール部の全面にLow-e複層ガラスを採用</p> <p>②吹抜け頂部のトップライトにより全フロアへ自然光を導入。同吹抜け空間を排気にも利用。</p> <p>③空調機VAV制御による空調搬送動力の低減(空調)。局所排気システム採用による搬送動力の低減(換気)。LED器具採用による消費電力の削減(照明)。</p> <p>④BEMS導入による消費エネルギー等の監視、効率的運用</p> <p>■敷地外環境対策 (⑤地球温暖化への配慮)</p> <p>⑤ライフサイクルCO2排出率=72%</p>		
ヒートアイランド対策(H) heat island	重点項目への取組(5点満点)	2
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出 ⑦敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑥敷地周辺の風環境に配慮し、風洞実験に基づいた植栽配置計画を実施</p> <p>⑥限られた外構スペースに対して十分な緑地を計画(外構緑化指数47.39%)</p> <p>⑦緑被率、中高木の水平投影面積率の合計=20.69%</p> <p>⑦地域冷暖房を導入し敷地内歩行者空間等の暑熱環境緩和に配慮</p> <p>■敷地外環境対策 (⑧温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑧既存の気象観測データによる風向風速卓越風等の把握、風洞実験の実施</p> <p>⑧建築外壁の断熱性向上等による熱損失防止、空気調和設備によるエネルギーの効率的利用措置(LR1エネルギースコア=4.7)</p>		
長寿命化対策(L) long life-cycling	重点項目への取組(5点満点)	4
<p>■耐用性・信頼性 (⑨耐震・免震 ⑩部品・部材の耐用年数向上)</p> <p>⑨免震装置の採用</p> <p>⑩主要内装材を防汚・耐久性の高いものとし、更新間隔20年程度とする</p> <p>⑩耐用年数が一般より短くなると思われる一部の空調換気ダクトにガルバリウム材を採用</p> <p>⑩空調・給排水配管の主要な用途上位3種のうち2種以上にC以上を使用</p> <p>■対応性・更新性 (⑪空間のゆとり ⑫荷重のゆとり ⑬設備の更新性)</p> <p>⑪階高4.2m、天井高さ2.85m確保した、ゆとりある執務空間</p> <p>⑫事務所エリア5000N/m²の床荷重対応。事務所専有部のコア側にヘビーデューティーゾーン(10000N/m²)を配し、多様なテナントの入居に対応可能</p> <p>⑬構造躯体を痛めることなく諸設備の修繕・更新が可能な計画</p> <p>⑬主要設備の更新を考慮したルート確保、マシンハッチの設置</p>		
まちなみ・景観への配慮(T) townscape	重点項目への取組(5点満点)	3
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑭まちなみ・景観への配慮 ⑮地域性への配慮)</p> <p>⑭みなとみらい地区の景観ガイドラインに沿った適切な計画とし、周囲と調和した良好なまちなみ形成に配慮</p> <p>⑭外構への植栽配備による良好な景観形成(まちづくり協議会と合意した適切な外構計画)</p> <p>⑭グランモールに面した部分に商業店舗を配し、まちのにぎわい創出に寄与</p> <p>⑮建物内にだれもが利用できる貫通通路を配置し、内外、表裏の連関した建築計画</p>		
太陽光発電又は太陽熱利用の導入	その他の配慮事項 横浜市重点項目以外の取組内容、CASBEEで評価し難い環境配慮の取組みなどがあれば、ここに記載してください。	
<div style="text-align: center;">  太陽光利用 </div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	